



# 石井こうじ (志政会所属) 議会だより

令和7年11月発行  
発行/静岡市議会志政会  
編集/志政会広報部  
〒420-8602  
静岡市葵区追手町5-1  
TEL: 054-653-3412

## 【ご挨拶】

令和7年9月議会が閉会しました。今議会はJR東静岡駅前に整備予定のアリーナに接続するペデストリアンデッキ約25億円の予算や小中学校体育館の空調整備費等が議論されました。また、9月議会は令和6年度の決算審議も実施。本市の財政運営は事務事業の見直しや、自主財源の確保、ふるさと納税の着実な推進により、前年度を上回る68億円の実質収支を計上できており評価できる結果でした。

しかし、今後もアリーナ等の大型投資事業やインフラの長寿命化など、物価高騰の影響を受ける事業が続くこと、また社会福祉関係費も増加していくため、さらに健全な財政運営が求められます。引き続き本市の事業を精査し、税金が無駄なく活用されているかチェックしてまいります。以下ご報告申し上げます。



石井孝治

## 「4次総見直し」について市長へ要望



静岡市では、令和5年3月に「第4次静岡市総合計画（4次総）」を策定し、この計画に基づき様々な取組みを行っています。しかし、市独自の推計では、今後有効な対策を講じなければ、2050年には市の人口が50万人を下回る状況です。そこで、静岡市の危機的な人口減少の現状を認識したうえで、人口減少を緩やかにするための政策を形成していくため、市では4次総の見直しを行っています。志政会でも、人口減少に対する危機感を共有しており、4次

総の見直しの必要性・緊急性を感じています。

志政会では9月22日、4次総の見直しについて、市民に理解が得られ、共感が広がり、共創につながる計画となるよう、難波市長に要望書を提出しました。要望書では、市民が参加できる「共創」プロセスを構築していくことなど3点を求めていました。

また要望に先駆けて、4次総の見直しやまちづくり（東静岡アリーナ、宮川水上地区、袖師地区等）について市長と意見交換を行いました。



# 会派視察



## GLION アリーナと周辺整備 (神戸市)

今年4月にオープンした神戸市のGLIONアリーナと隣接するTOTTEIパークを視察しました。このアリーナの建設に係る事業費は、約150億円で民設民営。市からの補助金は入っておらず、神戸市は周辺開発のみ行っています。



アリーナと公園との一体開発により、一つの空間としてデザインされることで、地域全体の景観構築に有利になっています。

静岡市でも、東静岡駅のアリーナやスタジアム建設の計画がありますが、周辺と一体的に開発をすることで、イベント開催日以外の賑わいを創出する必要があります。また、できるだけアリーナ・スタジアム単独ではなく、複合化することで、効率化と収益性を高める工夫をしていくべきと感じました。



## 廃校施設を利活用した地域活性化 (神戸市)

近年、子どもの減少により学校の統廃合が行われており、使われなくなった校舎や跡地が有効活用されています。今回視察した神戸市北部の「NATURE STUDIO」は、平成27年に141年の歴史を閉じた「湊山小学校」をリノベーションして作られた複合施設です。



令和4年にオープンしたこの施設には、小規模水族館や学童保育・小規模保育園、就労継続支援施設、フードホール、釣り池等が整備されています。地域住民や来訪者、事業者が交わる複合的な空間づくりが行われており、単なる商業施設ではなく、教育・福祉・環境・観光を融合させた「地域共創拠点」として機能していました。静岡市でも廃校の利活用が検討されていますが、大変参考になりました。



## 各種団体との意見交換 ~政策提言策定に向けて~

志政会では毎年、来年度予算への政策提言策定に向けて各種団体と意見交換や勉強会を行い、市政への課題や要望を伺っています。これらの意見を会派内で集約、検討していきます。策定した政策提言は、11月に市長へ提出する予定です。



### 静岡市教職員の皆さん

教員の人材確保や、ICT教育、体育館の空調整備等について意見交換



### 労働者福祉協議会の皆さん

福祉政策や子育て支援等について意見交換



### 西豊田地域支え合い実行委員会の皆さん

障害者の防災政策（福祉避難所、個別避難計画等）について意見交換



## 「部活動の地域移行」へ向けた試行事業

静岡市では、中学校の部活動から「地域クラブ活動」への転換を令和9年9月に行う計画です。中学校における部活動は、少子化に伴う部員数や部活動数の減少、教員の働き方改革の必要性の高まりなどから、従前の体制での運営が困難になってきています。

そこで静岡市では、「学校」における部活動に代る新たな活動の場として「(仮称) しづおか地域クラブ活動」を実施します。具体的には、市が指定する「指定種目クラブ」と民間などが設置したクラブを市が認定する「個別認定クラブ」の2形態を設定、近隣の2、3中学校区を一つのエリアとし、原則エリア内の中学で活動します。完全移行への課題を整理するため、今年度試行事業を実施します。



### 指定種目クラブ 部活動でやってきた種目を続けたい 部活動レベルの活動をしたい という方

#### 【スポーツ】 13種目

- ①サッカー ②バスケットボール ③バレー ④陸上
- ⑤バドミントン ⑥野球 ⑦ソフトボール ⑧ソフトテニス
- ⑨卓球 ⑩剣道 ⑪柔道 ⑫総合スポーツ ⑬ダンス

#### 【文化芸術】 2種目 ①吹奏楽 ②美術

\*近隣の2、3中学校区で構成する「エリア」を基礎単位として設置します

\*活動日数：週5日以内

\*活動時間：平日2時間、休日3時間程度

### 個別認定クラブ

#### 部活動にない種目をやってみたい もっと気楽に楽しみたい という方

\*市民や民間企業・団体等が設置したクラブで、一定の基準に基づき、「(仮称) しづおか地域クラブ」として市から認定を受けたクラブ

\*個別認定クラブは令和8年12月までに募集、認定します

\*活動日数：週5日以内

\*活動時間：平日2時間、休日3時間程度

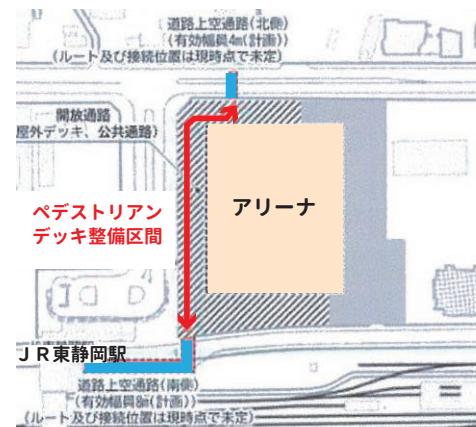
## 東静岡地区ペデストリアンデッキの整備

静岡市では、JR東静岡北口市有地で計画されているアリーナ整備について、アリーナと東静岡駅、静岡鉄道長沼駅をつなぐペデストリアンデッキのうち、アリーナと一体になる部分の費用を債務負担行為として計上しました。

市では、8月からアリーナの設計や建設、維持管理、運営を担う事業者を公募中で、来年3月に落札者を決定する予定です。ペデストリアンデッキは、アリーナと一体的に整備する方が機能向上や費用抑制が期待できるため、アリーナの建設事業者が整備します。

#### 【ペデストリアンデッキ整備スケジュール】

令和8～9年度：設計 令和10～11年度：整備工事



## 小中学校体育館の空調整備

災害時の避難所としても活用される小中学校の体育館へのエアコン整備について、本年度から来年度にかけてモデル校で最適な整備手法や空調方式の検証を進め、令和15年度までに全市立小中学校110校への設置を目指します。昨年度から始まった設置費の半額を国が助成する交付金制度を活用します。

費用と時間がかかるため、市では昨年度、代替案として全小中学校にスポットクーラーを配備しています。

#### 【モデル校（3校）】

- ・葵区：東中学校
- ・駿河区：長田西小学校
- ・清水区：清水袖師中学校



#### 【整備期間】

・R7年～8年度 設計・工事・検証  
(モデル校3校)

・R8年～15年度 設計・工事  
(モデル校以外の市立小中学校)

# 観光文化経済委員会

観光交流文化局及び経済局の令和6年度決算、令和7年度9月補正予算について審議が行われました。



## 【海洋・地球総合ミュージアムについて】

令和6年度決算において、静岡市が海洋文化の拠点として整備を計画している「(仮称) 静岡市海洋・地球総合ミュージアム」の状況が報告されました。この整備事業は当初2026年に完成予定でしたが、建設費の高騰で着工ができず、今回建設費の推計が当初建設費94億円から70億円以上の増額になる見通しが示され、来年3月までに設計変更やコストダウンを検討することでした。見直しにあたっては、市が策定した要求水準を厳守するのももちろん、議会での議決を受けた時点での計画に盛り込まれてきた機能や役割を担保する施設にしなければなりません。事業をどのように進めるべきか、市の判断も問われます。その上で増額をどのように扱うか議会で慎重に審議していくことになります。

## 災害対応力の強化

本年9月5日(金)台風15号の通過により静岡市内でも大雨が発生し、市内各所で被害が発生しました。駿河区においても海拔が低いところを中心に内水氾濫が発生し床上床下浸水・車両の水没等の被害を受けました。現状、本市の排水インフラでは、昨今の短時間集中的大雨に対応できていませんが、対応するためには長期にわたる計画と費用が必要になります。その為、今は一時的な貯水機能を学校校庭や公園に持たせる整備を進めています。



先日も、今回被害を受けた登呂地区の浸水対策の為、公園を管理する部署と登呂公園の貯水機能拡大と土砂流出対策について、現地で打ち合わせを行いました。少しでも被害を軽減し安心して生活できるよう、早急に対策を進めてまいります。



## 教育現場視察～葵区南藁科小 民間施設を利用した水泳授業～



葵区南藁科小学校の民間プールを利用した水泳の授業の視察を行いました。近年、小中学校のプール施設老朽化や維持管理、教員による指導の負担などの課題が生まれており、スイミングクラブなどの民間事業者に委託する学校が全国的に増えています。

南藁科小では、児童がスポーツクラブ「セイシン葵の森」に15分ほどかけてバスで移動し、インストラクターと教員に水泳の指導を受けていました。

教員との意見交換では、民間プールの利用について、「屋内プールは天候の影響を受けづらく、実施時期の選択肢を広げることができる」「インストラクターが指導に加わることで、きめ細かな指導が可能になる」などのメリットがあるとの説明がありました。今後の課題としては、プールまでの移動時間や移動手段等が挙げられました。